

2月

行事予定

今月のご縁日

# 節 分 会

- 節分札 1,000 円也
- 一合杓 1,000 円也
- 五合升 2,500 円也
- 一升杓 4,000 円也

(本堂にて頒布。売れ切れ次第終了)

2/3  
火曜日  
15:00~

- ・当日 15 時より、本堂にて節分会法要を執行いたします。
- ・法要後は堂内を一周し、神楽殿へ移動して豆撒きを行います。
- ・また参道では、無料にてお神酒をお配りいたします。

※当日、お車でのご来山はご遠慮ください。

よくゆこう

## 浴油講 講金：2,000 円也

浴油講では、毎朝の浴油祈祷に用いる胡麻油をお供えいたします。  
皆様からご志納いただいた淨財により、最高級の胡麻油を尊天様にお捧げし、  
日々のご祈祷に用いさせていただきます。  
お申し込みの方には、お加持された食卓用胡麻油をお授けいたします。どうぞ  
お申し込みください。

2/20  
金曜日  
11:00~

### 朝まいり会

2月1日～7日 午前8時～8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歡喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日お出でにな  
れなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

### 日曜勤行

2月8日(日) 午前9時 参加費:無料

初心の方でも気軽に参加いただけるお勤めの会です。  
お勤め終了後に住職の3分法話もございます。

### 写経の会

2月8日(日) 午前10時、午後1時 会費:500円也

お経を一字一字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。  
初めてのご参加の方には説明がございますので開始20分前にはお越し  
ください。貸出用の筆のご用意はございませんので筆はご持参ください。  
また受付でも販売しておりますのでお気軽にお声がけください。

### 合同大般若法要

2月25日(水) 午前11時 法要料:5000円也

皆さんと一緒に上げる御礼の法要です。  
ライブ配信も行います。そちらもどうぞご利用ください。

### 坐禅の会

2月28日(土) 午前9時半～10時半 参加費:500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅修行の体験ができます。  
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

#### ライブ配信のご案内 ▶

御縁日法要・合同大般若法要の  
ライブ配信を行っております。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。

ご意見やご質問は [ityou@matsuuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuuchiyama.jp) までメールをお送りください。

2026年2月号

令和8年1月20日発行/No.398

発行所: 待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

本龍院執事 深谷昌広

### 「冬の朝」

冬は寒いのでどうも苦手です。朝布団から出るだけでも、気合を入れて掛け声をかけてから何とか起きています。皆さんも共感される方が多いと思います。

そんな冬でも良いこともあります。空気が澄んでいる日が多いので、朝の通勤電車の窓から富士山がよく見えることです。私は常磐線で通勤していますので車窓から西方を見ると富士山のその雄大な稜線が見えます。北の方を見ますと筑波山の二つの峰が良く見えます。これらの山々が見えた日は、それだけでなんだか得をした気分で、今日も元気に仕事をがんばろうという気持ちになって、良い一日が始められます。

浮世絵の中にも待乳山と共にこの二つの山はしばしば登場します。高い建物がなかった江戸時代には、ここ待乳山からもよく見えたことでしょう。

ところでこの富士山、筑波山そして待乳山には不思議な共通点があることをご存知でしょうか。

江戸時代初期に三浦淨心によって書かれた『慶長見聞集』は、江戸時代の世相や出来事を主な話題とした仮名草子です。  
みやこびと まちやま いっけん つけたり そうさいがこと  
その5巻に「都人 待乳山一見の事付 宗斎事」という話があります。

京都から商人が江戸に来た時、関西でも噂に名高い待乳山にお参りしようと浅草にやってきました。さぞかしこそ大きな山だろうと期待していた所、小さな山で意外だったそうです。それを聞いていた者が「この山は浅草寺の観音様の先触れとして一夜にして湧出した。又富士山は孝靈天皇の時に一夜に湧出した。この二山は地中より出でた山だ。又中国の五大山が二つに割れて空を飛び、一つが筑波山となり、もう一方は奈良の吉野山となった。この二山は天より降ってきた山だ。さればこの四つの山は我が国でも、とても不思議な靈山だ。」と諫めたそうです。

ここ待乳山は江戸時代初期には既に江戸の名所として全国に広まっていたようです。また富士山などにも並ぶ靈山としても有名だったようです。

私事ですが吉野山は若い頃に奥駆け修行で何度も行きました。この四つの靈山にご縁がある私にとっては、よく晴れた冬の朝は特に気持ちがいい一日の始まりです。



## 星祭

12月22日(月)星祭法要を厳修いたしました。当日は厳しい寒さの中にもかかわらず、例年以上に多くのご信徒が参集され、堂内に収まりきらないほどの盛況となりました。お堂の外まで続くお参りの列に、皆様の祈りの深さが感じられる一日となり、来る年の除災招福をご祈願いたしました。

## お正月

元旦午前0時、開堂を待つ参拝者の列が境内に静かに伸び、手には大根を携えた姿も多く見られました。開堂の鐘とともに本堂が開かれると、参拝者は次々とお参りし、新年最初の祈りを捧げました。

三が日にわたって執り行われた正月特別祈祷にも多くの方が参列され、境内は終始落ち着いた熱気に包まれました。新年を迎えるにふさわしい、厳かでありながら活気ある正月となりました。



## 大根まつり

1月7日、11時より大般若講大根まつりを執り行いました。法要後には、参道にて風呂吹き大根がふるまわれ、今年は約1,800食をご用意いたしました。配布開始前から行列は隣接する公園付近まで続き、寒空の下にもかかわらず多くの方が順番を待たれています。

湯気の立つ風呂吹き大根を口にしながら、一年の無事と開運を願う参拝者の姿が印象的で、冷えた体も自然と温まるひとときとなりました。

また神楽殿では、日本舞踊五大流派の一つである西川流宗家、西川扇藏様による奉納演舞が行われました。格調高く美しい舞に、参拝の皆様も足を止め、静かに見入る姿が多く見られました。

境内には終日笑顔があふれ、年初の行事にふさわしい賑わいを見せました。



正月を迎えるにあたりご信徒の皆様よりお供え餅をはじめとするたくさんの供物をご奉納いただきました。多くの御奉納をいただきありがとうございました。

参道入り口にある提灯一対をご奉納賜りました。ありがとうございました。  
松本欣也様



## --- お宮参 ---

ご宝前にて無病息災を祈念し、行者よりお加持を授かりました。皆様の健やかなご成長をお祈り申し上げます。



## ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

孙

## 祈祷料

別座祈祷 壱万二千円(一週間)  
浴油祈祷 四千円(一週間)  
華水供 六百円(一日)

## 法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

## 百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

## 大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

## 自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

## 「除災招福」

泉水堯有



今年の初詣では、除災招福を祈願した人も多いかと思います。一年の無事や家族の健康、仕事や暮らしの安定を願い、手を合わせる——それはとても自然で、正直な心のあらわれです。

中には仏さまに自分自身の願い事をするに、どこか後ろめたさを感じる方もおられるかもしれません。

しかし、健康でいたい、安心して暮らしたい、少しでも穏やかに日々を送りたいという思いは、誰もが持つ大切な願いです。

大切なのは願いの有無ではなくその向きです。

その願いは、自分だけのためのものになっていないか。不安や焦りから、必要以上に欲張っていないか。新しい年の始まりは、そうした心の向きを静かに見つめ直す、よい機会でもあります。

聖天様は我々の願いをかなえることで欲そのものを否定するのではなく、その向きを正してくださる仏さまです。

欲が整えば、行いが整います。行いが整えば、人の関わり方が整います。

その積み重ねが、結果として災いを遠ざけ、福を招く「生き方」へとつながっていきます。

除災招福とは、お寺や神社にお参りしてお願いした時だけにあるものではありません。

日々の暮らしの中で、立ち止まり、自分の心の向きを確かめること。

その一つ一つが、すでに除災であり、すでに招福なのだと思います。

